

Title	企業の人的資源への支出が企業価値に与える影響について
Sub Title	
Author	王, 幸寧(Wang, Xingning) 岡田, 正大(Okada, Masahiro)
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	2017
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 2017年度経営学 第3282号
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00002017-3282

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

慶應義塾大学大学院経営管理研究科修士課程

学位論文（ 2017 年度）

論文題名

企業の人的資源への支出が企業価値に与える影響について

主 査	岡田 正大
副 査	林 高樹
副 査	高橋 大志
副 査	

氏 名	王 幸寧
-----	------

論文要旨

所属ゼミ	岡田 研究会	氏名	王 幸寧
(論文題名) 企業の人的資源への支出が企業価値に与える影響について			
(内容の要旨)			
<p>現在人や研究費等目にみえない資産への投資を行うべきという声が高まりつつある。それが企業の競争力に繋がり、最終的に企業価値向上に役立つと考えられるからである。しかし、一方で人への支出は費用項目として処理されるうえに、その効果は分かりづらく、意思決定者や株主の立場としてはなかなか人的支出を増やすという決定を肯定しづらいのではないかという問題意識を抱いた。この論文は、人的支出が企業価値にどのように影響を及ぼすか、株主は人的支出に対してどのように評価しているのかを研究し、目に見えない資産、特に人的支出の効果に関しての研究領域に何らかの示唆を与えることを目的としている。</p> <p>この論文では、2つの検証を行っている。1つ目は、複数企業の給与と研修費を説明変数に置き、被説明変数に企業価値を示す複数の指標をそれぞれ設定している。給与及び研修費と、企業価値を示す指標を使ってクロスセクション回帰分析を行うことによって、給与及び研修費と、企業価値の関係性を検証した。この際、被説明変数の指標の年度を給与や研修費が発生した年度からずらすことによって、時間軸が与える影響も観測している。2つ目は、複数企業の企業価値を示す複数の指標を説明変数におき、被説明変数にそれぞれの企業の給与や研修費を置いている。これは、企業の業績が良いからこそ給与や研修費にお金をかけることができるのではないかという可能性を排除するために行っている。</p> <p>結果として、ただ単純に費用として考えるのであれば負の関係性を示すはずである給与や研修費と企業価値を示す複数の指標間において、明確な負の相関関係及び有意傾向を得ることはできなかった。さらに研修費の高さと3年後のROEとの間には、有意な正の関係性がみられた。一方で、株主の評価軸である株価との間には有意な関係性を見つけることができず、株主が人的支出に対してどのような評価を下しているかという点を明らかにすることはできなかった。また、企業業績が良い企業こそ給与や研修費にお金をかけているという検証結果は得られなかった。</p>			